

# 一般質問…ここが論点

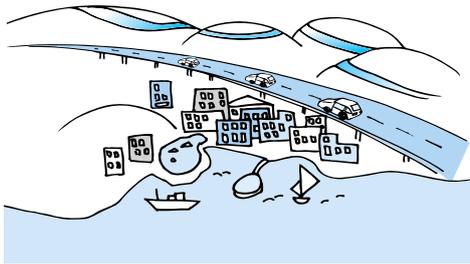
## 3月定例会

3月市議会定例会中、6日、10日の2日間で3人の議員が会派を代表して質問し、3人の議員が個人質問を行いました。その主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録(6月上旬発行予定)を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システム(6月上旬掲載予定)をご覧ください。

蒲郡市政クラブ  
代表 鎌田 篤司

金原市長の今後の市政  
に対する決意は

**問** 金原市政も三年半が経過した。市税収入が伸びず、競艇収益からの繰入が期待できない今、最少の経費で最大効果を発揮すべく、経費節減のため、時間外勤務の削減、特別職はじめ職員の人件費抑制に踏み込むなど痛みを伴う財政改革に積極的に取り組んできた。金原市長の今後の市政に対する決意は何か。



**答** 国道二三号、二四七号など産業の動脈ともいえる幹線道を始め、安らぎと潤いのあるまち並みなどの施策は、未だ道半ばであるが、二期目に向け、市民の賛同と議員各位の支援を得られれば、引き続き市政運営にあたりたい。

今後の財政見直しとその対応は

**問** 国家財政の逼迫により地方自治体の財政状況はかつてないほど苦しい。本市の財政見直しとその対応、予算編成手法の見直しについて伺う。

**答** 景気の動向や制度改正が不透明で、長期のみならず短期の財政予測すら難しい。競艇事業収益の伸び悩みや扶助費の伸び、市債償還の増額などを考えると、一般会計の財政調整基金もあと二〜三年で底をつく状況である。新しい財政運営の在り方としては、実施計画の策定にあたっては、実行可能性のある計画を立てるのはむろんのこと、現状の適切な分析と財

源の裏付けに基づいた実施計画を作成していきたい。予算編成の見直しは、予算編成の主体を各部署に移し、自主的な見直しによる予算編成にしていきたい。

福祉対策の充実について

**問** 介護保険料を納めてもサービスを受けられないという不満の声がある。介護保険施設の待機者の状況と施設の基盤整備の取り組みについて伺う。

**答** 介護サービスを受けられる方が年々増加している。三月末に竹谷町に九人定員の痴呆対応型グループホームが開設される。続いて五月には、市民病院北側に九十人定員の介護老人保健施設がオープンするの、待機者の緩和が図られると思う。

教育の充実について

**問** 平成十四年度から新学習指導要領が実施された。今後、「知・徳・体

調和がとれ、豊かな心を持ち、たくましく生きる」子どもたちを育てるためにどのような方針を立てていくのか。

**答** 来年度の教育指針に、児童一人一人へのきめ細かな指導と支援を図るための評価活動が行われているかという項目を加えた。緊急雇用制度を利用して補助教員や学校司書補助員の採用、少人数教育も進めていく。

また、三学期制を二学期制に、については週休二日制になり授業時間やゆとりがなくなってきたので、二学期制にすることを視野に入れ、来年度一年間先進地域を参考にして検討する。

地域集会施設の改修に特例を

**問** 地域集会所が消防の防火査察を受け、カーテンとじゅうたんを防災加工の物に取り替えるよう指摘された。しかし、カーテンやじゅうたんの交換や修繕などは補助の対象にならないので改善を望む。